

東京オリンピックは、中止してはいけない

新型コロナの猖獗のため、東京オリンピックを中止しようという話が喧しいが、決して中止をしてはいけない。昨年は、肺炎に対して手が付けられなかったが、現在は、ワクチンもできた。肺炎の治療も進歩した。テロなどがないかぎり、実施するべきだ。

一般論として安倍総理が「言えることと、言えないことがある」と語ったが、今年の初めは、急激な患者の増加のため、流れとしては、中止の方向に向かっていた。ところが、水泳の池江選手が出場できそうだと分かった時点で、開催に流れが傾いた。……なぜか知らない。理解もできない。

SNS やツイッターについては、投稿したことも読んだこともないが、現在の日本の言論の流れがわかることがある。大多数はややまとも～まともと思いたいが、どの世界にもバカやキチガイはいる。しかし、そのために自殺した人がでたり、さらなる嫌がらせを投稿するのまできるとなると、匿名性ゆえに卑劣な人間まで出てきてしまう。そうなると、せっかくの「自分の意見を述べる場」まで狭くしてしまう。

たしかに変な連中がでてきている。単なる一選手に過ぎない池江選手に「オリンピックに出場するな」とか「反対運動をしろ」とか書いて送るらしい。池江選手ひとりがオリンピックに出るといったり、出ないと言ったりする程度のこと、オリンピック開催が左右されるはずがないではないか。仮に、「出場しない」と言ったところで、委員会や JOC が慌てると思いますか？ ああ、そうですか。お好きにどうぞ、で話は終わり。……オリンピックに出たい選手は、いくらでもいる。競技が違えば、その数の何倍もの選手が出場したがつているのである。池江がでないなら、次の選手が出るだろう。この程度のことさえ理解できない連中が SNS の中心メンバーなら、つぶれてしまった方がいい。池江は、おそらく 3 年後の大会を目指していたのだと思う。(失われた筋力の回復を考えればわかる。)ところが、思わぬ回復の早さで、リレーのメンバーになって残った。……白血病で入院すると、およそ 10 kg 体重が減って退院する。しかも、この体重減少は「筋肉」が落ちるからである。これを取り戻すためには、かなりの努力を要する。池江も例にもれず痩せているのが TV を通してもわかる。今回は無理だろう。……池江選手に出場辞退を書いて送る連中の 80% がリベラルだという。リベラルの意味がよくわからないのだが、国を問わ

ず共産党や専制政治の国家がそうだというなら、なんとなく話はわかる。すなわち、個人の夢や希望を、徒党を組んで数の力で強制的にやめさせることである。しかも、それが「正義」に適っていると信じているのだからあきらめるしかない。「堅く信じている」相手の意見を変えることは出来ない。それをひっくり返そうとは思わない。(ブーメラン効果)しかし、「してはいけない」ことは、法に触れる触れないを問わず、許されない。個人の自由は、他人に迷惑をかけないかぎり、みとめられるべきである。(ポンコツ憲法にも書いてある。)

・・・なかには、オリンピック選手は、優先的にワクチンを打ってもらえる、と思っているのがいて、これをつぶそうとして動く。ところが、当のオリンピック代表に言わせると、ワクチンができて何年も経過していてその効果や自分の身体にどのような変化が起きるかわかっているなら、各個人が判断するだろうが、現時点で、ワクチンを打って体調を崩してしまったりしたら、元も子もない。新谷選手がいみじくも喝破したように、「周りに迷惑をかけるようなら打ちます(接種します)が、そうでなければ、そんな危険を避けます。」・・・つまり、やっかみでワクチンを早く打ちたい連中がさもしく考えただけのことである。選手は、もっと真剣に考えている。

普通に考えて、優先さるべきは、首相や外遊に際して同行する議員やSP、ワクチン担当の議員などには優先的に接種するのが当然と思うのだが。でないと、ワクチン接種が動かなくなる。これを「職権濫用」とか「役得」とか非難するのがいるのである。・・・・・・・・日本人も質が落ちたものだ。情けなくなる。

ワクチンの順番が県によって異なるのは当然で、なかなかまわってこないのがほとんどである。これは仕方がない。「公平にと言う名の不平等」。医療関係者や、高齢者が優先されて、なかには不適格な人もいるだろう。たとえば、神戸で高齢者が入居している施設で百数十人のクラスターが発生した。施設は謝罪するけれども、なぜ介護士に優先して接種しなかったのか。「介護士」は、基本的には仕事は医療関係者と同様である。入居している高齢者があちこち、不要不急にでかける可能性は低い。むしろ、見舞いの家族や、介護士が出勤してくるときに感染する可能性の方がはるかに高い。それなら期限付きの家族の面会禁止とともに介護士への優先接種の

方が納得できる。救急車で患者を搬送する救急救命士などを医療従事者にするのは賛成だが、高齢者よりも先に介護士やあるいは多くの人と接触する仕事をしている人、掃除やゴミの処理をしてくれる人の方が、美容整形外科などよりもはるかに重要だと考えるのだが。

東京オリンピックの話だった。

EU 諸国や米国などは、新型コロナに対し、本気で怒っている。その元凶である中国共産党に対して、現在は、事実上なにも報復の術をもたない。近々でいえば、冬季オリンピックが北京で開催される予定である。1988 年だったかにソ連がアフガニスタンを占領したとき、モスクワオリンピックをボイコットしたことがある。

EU やイギリスで礼儀も知らず、不愉快な思いをさせるだけの恥知らずの国、ウイグルやチベットを弾圧・抹殺しようとしている、人権の認められない国にオリンピックを開催する資格はない。欧米の考え方として、ごく普通だと思う。そのためにも東京オリンピックは、絶対に成功しなければならない。……IOC の連中は、あまり金にきれいとは言えないから要注意だが。

厚生省の医務技官の女性が、「こんなさざ波程度のコロナ騒動で、オリンピックを中止したら、世界中に笑われる」といったそうだが、たしかに世界中のコロナ感染者数と比較すれば、さざ波程度だろう。たとえば最も多い米国では 3600 万人、インドやブラジルでは 2000 万人以上である。日本より狭いイギリスでさえ数 100 万人。日本は 80 万人を超えていない。桁違いである。ブラジルでは、20 万人も亡くなっているという。(日本人は 2 万人も亡くなってはいない。)
「一体日本人は何人のコロナ患者の発生にしたいのか？」とある外国人が笑いながらいう。野党は何に対しても怒り狂っているが、さざ波はさざ波だ。野党は、オリンピックを中止してなにをしたいのか、説明しているのか？ おそらく説明を聞いてもわからないだろう。尾身茂というナントカ委員会の座長は、オリンピックを中止するべきだというが、その表現法が、「この時期にやろうとするのは、普通はない」だ。科学的とは程遠い表現で、国民の感情に訴えているだけで、説得力もない。(過去の 30 回のオリンピックで、感染症のパンデミックで中止したことはない。)新型コロナの臨床も公衆衛生も最新の知見も経済も知らない。いったい何人の人が職を奪われ、生活に困窮しているか、新型コロナ感染

症による悪夢のような状況についても知らない。また予知能力もまったくない。この程度の委員長なら、まだ予言者を名乗る者の方がマシではないか。

医療崩壊は、多分に日本医師会とこれに群がる政治屋にある。役人や市長らが、手を叩いてくれても、なんの役にも立たない。おちよくっとんのか！ それより、危険手当や十分な休息の方がいい。ワクチンが切り札なら、もっと強引に進めればいい。それでうまくいくなら、無観客での開催など、考えなくてもいい。「この時期に」というが、パンデミックで中止や延期になったオリンピックはない。中止になったのは、戦争のため。1940年の東京オリンピックだけである。……日本は、呪われている……

東日本大震災からの復興をスローガンにしていたはずが、バカな野党その他の為にオリンピックを中止するのはおかしい。雑音を排し、断固実施すべきである。

6月末、東京都知事が過労のために休息するという。体力の限界というだろうが、媚中の偉いさんとの密談はできる。頭も休ませなければ、というが、頭脳が小さすぎて役に立たなくなったのだろう。「東京オリンピック・パラリンピック」である。頭を休めるより、その中身を入れ替えてくれ！